

# 読書教育重点校 活動報告

## 菊池市立泗水小学校

本校ではコミュニティ・スクールとしての特徴を生かしながら、学校・家庭・地域の三者の連携でたくさんの本にふれる機会を増やす取組を行っている。特に今年度はこれまでの取り組みに加え、保護者の方に読み聞かせボランティアを募り、読み聞かせの回数を増やすことができた。

これまでは地域の読み聞かせグループによる読み聞かせのみであり回数も少なかったが、今年は新たに保護者ボランティアを募ったことで、読書週間中の読み聞かせ回数を増やすことができた。



ボランティアによる読み聞かせやエプロンシアター

今年は学年ごとの必読書にシールで目印をつけ、必読書を一定数読んだ児童に菓をプレゼントした。高学年では長い本にも挑戦する児童が増えた。

### ＜読書週間＞(学校で)

毎学期に読書週間を設定している。

- 朝の一斉読書(通常は毎週木曜日に実施)
- 読書の木(おすすめの本の掲示)
- 委員会による読み聞かせ
- 教師による読み聞かせ
- ボランティアによる読み聞かせ
- 図書委員会による菓プレゼントなどを実施した。

### ＜ふれあい読書＞(家庭で)

毎月第1・2・4水曜日を家族で読書をする日に設定し、『ふれあい読書』として実施(家庭事情で実施日の変更は可)している。当日は、家庭学習の課題を減らし、「ふれあい読書カード」に「誰と読んだか」「どんな感想をもったか」を記入する。カードをためることで読書量を実感することができる。

学校・家庭・地域、三者の連携により、子どもたちの読書意欲は高まりを見せ、貸出冊数は5.2冊で、熊本県の目標値である「月平均5冊」をこえている。また、内容の深い物語に挑戦したり、学習資料として活用したりするなど、ジャンルや内容に深まりが見られている。

### ＜中学生による読み聞かせ＞

#### (泗水中学校との連携の中で)

中学3年生の選択国語と連携し、高校の前期選抜試験後に1,2年生の子どもたちへの読み聞かせをしてもらう取組を昨年度より始めた。絵本や紙芝居、エプロンシアター、ペープサート劇、指遊び、パネルシアターなど、工夫された読み聞かせを楽しみ、互いの国語力が生きる場となっている。

### ＜PTAによる読み聞かせ＞

#### (地域と)

毎月第3木曜日、全学級でのPTAによる読み聞かせをしている。母親の参加が主ではあるが、お年寄りや父親の参加が増加してきている。児童は、その読み聞かせを大変楽しみにしている。読み聞かせ実施後のPTAの感想カードによって児童の読み聞かせ時の態度等を知り、事後指導に役立てることができる。



泗水中3年生による読み聞かせ

### ★今後の課題

本年度は、各学年にふさわしい本を必読書として掲げたため、昨年度より一人当たりの貸出数は減少した。来年度も読書内容の向上と読書量の増加を推進していきたい。